

市長定例記者会見報告事項概要

令和3年10月25日(月)午前11時00分～

1. 行政手続のワンストップ化について

- 11月から、新庁舎建設に伴う市役所2号館、3号館の解体工事が本格化することから、市役所1号館と4号館との移動については、庁舎東側の県道の歩道を通って行き来していただくこととなる。
- こうしたことを踏まえ、市民サービスを向上させる観点から、新庁舎建設工事中、市役所で手続をされる際になるべく別の建物に移動することなく、転入や転居、出生等の住民異動の手続きを行っている4号館の中で、現在1号館で行っている手続きも含め対応できるよう、4号館1階にワンストップ総合相談窓口を設置する。
- また、亡くなられた方のご遺族が、市役所で必要となる手続をまとめて行える「おくやみコーナー」を4号館1階に特設することとしている。
- さらに、子育て支援課こども福祉系の窓口を1号館1階から4号館3階に移転し、子育て世帯の異動手続きに併せ、関連する福祉医療制度などの手続についても4号館で行えるようにする。
- 身近な公民館でも手続き等が行えるよう、公民館と本庁の窓口をつないだオンライン相談も始めており、今後、デジタル化による公民館の利便性の向上にも取り組んでいきたいと考えている。

2. 新型コロナワクチン接種に係る感謝状の贈呈について

- 本市における、新型コロナワクチン接種は、10月末に高齢者の約95%、接種対象者の約85%の方の接種が見込まれており、接種率が全国上位の山口県の中でも、県平均を上回るものとなっている。

- これは、防府医師会、防府歯科医師会、防府薬剤師会の三師会の皆様方を始め、会場設営や運営等、ワクチン接種のためにご協力いただいた全ての方のご尽力の賜物と思っている。
- 今月末で集団接種が完了し、一区切りとなることから、ワクチン接種にご協力いただいた方々へ、防府市から感謝状を贈呈することとした。
- それぞれ個別に訪問し、感謝状を直接お渡しする予定としているが、接種開始にあたり団結式を開催した三師会に対しては、11月4日（木）午後3時30分から贈呈式を行う。
- なお、現在、国から追加接種の方針が示され、その実施に向けて準備を進めている。
- 今後も、三師会をはじめ多くの方々のご協力をいただきながら、市民の方が安心して接種が受けられるよう、体制の整備に努めていく。

3. 児童虐待防止推進月間について

- 10月は「やまぐちピンクリボン月間」となっており、がん検診の受診率向上を図るための取組として、市役所1号館の屋上に看板を設置し、夜間のライトアップを行っている。
- また、アスピラートからルルサス防府までの北側歩道において、防府観光コンベンション協会によるピンクのライトアップも行われている。
- 11月は、家庭や学校、地域などの多くの方々に「児童虐待問題」に深い関心と理解を得るための「児童虐待防止推進月間（オレンジリボンキャンペーン）」であることから、11月1日（月）から30日（火）までの間、市役所1号館の屋上に看板を設置し、夜間はライトアップを行う。
- 併せて、11月1日（月）から10日（水）まで、防府駅天神口駅前広場をオレンジ色にライトアップする。

- また、賑わい創出のため、アスピラートからルルサス防府周辺も、引き続き、11月1日（月）から、防府観光コンベンション協会によるオレンジ色のライトアップが行われることとなっている。
- 今年も児童虐待の不幸なニュースが相次いで報じられている。
- 子どもたちの大切な「こころ」と「いのち」、また、育児を行う人を守るために、多くの市民の皆様に関心を持っていただきたい。

4. アスピラートとルルサス防府エリアの愛称募集について

- 「輝き！ほうふプラン」の重点プロジェクトに掲げている「活力ある中心市街地の形成」を目指し、アスピラートとルルサス防府を駅前にふさわしい施設へと改修し、このエリアの魅力と利便性の向上を図ることとしている。
- アスピラートについては1階を改修して市民ギャラリーを設置し、ルルサス防府については文化福社会館の講座機能の移転を進めていくこととしています。
- このたび、エリア一帯の賑わいの創出を図ることにあわせて、このエリアがたくさんの方々に親しまれ愛着をもっていただけるよう、愛称を募集する。
- 駅周辺活性化推進会議において、応募作品から数点を選考し、最終的には、市内小中学校（小学6年生～中学3年生）の児童・生徒による投票により、最優秀作品1点を選ぶ予定としている。

5. 防府読売マラソン大会について

- 12月19日（日）開催の第52回防府読売マラソン大会は、一般参加の募集をすでに締め切っており、エリート枠に254名、山口県民枠に

487名、幸せます防府枠に101名、合計842名の申し込みを頂いている。

- 男子は、2時間30分以内の選手が187名と前回大会より84名増え、さらに2時間15分以内の選手は15名となっており、これまでになく、多くのハイレベルな選手にエントリーをいただいている。
- なお、招待選手とIPC登録選手のエントリーは調整中であり、決まり次第、大会事務局から発表される。
- 昨年、コロナ禍において、市民の皆様にご協力いただきながら大会を開催したことに対し、日本陸上競技連盟から高い評価をいただき、「ジャパンマラソンチャンピオンシップ グレード2」を取得することができた。
- これにより、今大会は、一定水準のタイムで優勝することで、パリ2024オリンピックの代表選考会となるMGC（マラソングランドチャンピオンシップ）の出場権が得られる大会となった。
- 市民の皆様をはじめ、長年にわたり本大会を支えて頂いている多くの方のご理解とご協力により、このように大きく飛躍することができた。
- 今大会もこれまで以上の盛り上がりには期待していただきたい。

6. 防府競輪について

- 開設72周年を迎えた防府競輪場を舞台に、10月31日（日）から11月3日（祝）までの4日間、全国の有力選手が熱い戦いを繰り広げる「周防国府杯争奪戦（GⅢ）」を開催する。
- 地元の清水裕友（しみず ひろと）選手は大会3連覇中で、今年の賞金ランキングも現在第5位となっており、未だ誰も成しえたことのない大会4連覇は全国的にも注目されている。
- また、11月13日（土）に、今年の夏にコロナ禍で開催できなかった

「防府競輪夏祭り」を「帰ってきた！防府競輪夏祭り」と銘打ち、「自転車祭り2021」と同時開催する。

7. ほうふスポーツフェスタ2021について

- 11月7日（日）に麒麟レモンスタジアムで「ほうふスポーツフェスタ2021」を開催する。
- 令和元年度まで57回にわたり開催してきた「防府市民体育祭」にかわるイベントで、市民の皆様からのご意見やニーズを反映し、どなたでも参加可能な、気軽にスポーツを楽しめる内容へ生まれ変わる。
- スポーツが得意でない人でも楽しめるブースを多数ご用意しているので、たくさんの人にご参加いただきたい。
- なお、防府北基地航空学生教育隊のファンシードリルでフィナーレを飾っていただく予定としている。

8. 英雲荘の夜間一般公開について

- 10年間にわたり整備してきた英雲荘の庭園整備事業が、本年8月末で完成した。
- 9月21日（火）の中秋の名月の夜には、庭園のお披露目も兼ね、英雲荘での観月会をオンライン配信した。
- このたび、完成した庭園をライトアップし、初の夜間一般公開を実施する。
- 11月9日（火）から14日（日）までの6日間、毎日午後8時までご覧いただける。
- ぜひ、英雲荘のもつ夜の幻想的な雰囲気をご体感いただきたい。

9. 重源上人生誕900年記念イベント等について

- 重源上人生誕900年記念イベントとして、11月1日（月）から阿弥陀寺ほか4か所を巡る「重源ドライブスタンプラリー」を、11月14日（日）13時30分から市公会堂において演奏や映像、トークを楽しむ「重源フォーラム」を開催する。
- また、今年も毛利博物館特別展「国宝」が、10月30日（土）から12月5日（日）まで開催され、国宝や重要文化財のほか、美術的にも歴史的にも優れたことで知られる毛利家伝来の逸品が一堂に公開される。
- 特に、今年度は毛利元就公没後450年の節目の年であることから、「三子教訓状」の実物の展示も予定されているので、ぜひ足をお運びの上、ご鑑賞いただきたい。

10. 令和4年度予算の編成方針について

- 本日午前9時から、部課長に対して、令和4年度予算編成方針について訓示を行った。
- 本市の財政状況は、今年度においても感染症の影響が続く中、ワクチン接種に迅速に取り組むとともに、補正予算を編成し、感染症対策や経済活性化対策などの緊急的な対応を講じてきたところである。
- そうした中で、来年度予算については、今年度ほどの税収の落ち込みはないものと見込んでいるが、「輝き！ほうふプラン」に掲げた諸事業を着実に進め、加えて、感染症対策や今後想定される国の経済対策などの緊急的な事業、カーボンニュートラルやデジタル化等にも対応して行かなければならないことから、現時点では約17億円の財源不足を見込んでいる。
- このような状況ではあるが、防府市の将来を見据えて策定した「輝き！

ほうふプラン」を、着実に、確実に進めていくことが、令和の時代に燦然と輝く「防府のまち」に繋がっていくものと考えている。

- 感染症対策についても、必要なものはしっかりと講じていく必要があると思っている。
- 職員には、「財源がないからできない。」ではなく、「こうしたものをやる。」ということを決め、そうした中で、財源をいかに確保するかを検討し、よりよい施策となるよう実施してほしいという事を強く伝えた。
- そのため、職員一人ひとりが、こうした考えを持って、全職員一丸となって予算編成に取り組むよう伝えた。
- 財源確保の関係では、遊休資産の売却、ネーミングライツの導入、ふるさと納税の活用など、確実な財源確保対策を講じなければならない。
- 歳出にあたっては、各事業を精査し、必要な事業については、確実に計上することとしている。
- 長引くコロナ禍ではあるが、本市のまちづくり、将来にわたるまちづくりは、しっかりと進めていかなければならない。
- そのため、当面の見積もり基準として、「輝き！ほうふプラン」の諸施策や感染症対策などについては所要額を見積もることとし、その他については枠配分という形で行うこととしている。
- 来年度予算については、議会において、全議員の賛成を得て議決された「輝き！ほうふプラン」の2年目の予算として、プランに掲げる施策を確実に進めるとともに、感染症対策にも的確に講じるなど、編成作業においては、年間総合予算として作業を進めて行きたいと考えている。
- 私自身が先頭に立ち、全職員と一緒に、防府市の発展につながる予算となるようにしていきたいと思っている。